

日本テコンドー選手の技術と戦術分析

体育学研究科 体育学専攻

博士課程 張 麗娟

2025.4

概要

本研究は、第18回全日本テコンドー選手権東日本地区大会および全日本学生選手権大会を対象に、日本選手の技術・戦術的特徴を分析し、その結果をもとに、競技力の向上および実践的かつ効果的なトレーニングの考察に役立つ知見を得ること及び特徴を把握することを目的とした。

選手は前回し蹴りや横蹴りなど成功率の高い技を多用し、高難度技術は頻度が低いが得点効率が高いことが示された。

迎撃戦術は高効率であり、反撃も特定場面で有効であった。勝者は技術の連続性に優れる一方、打撃力不足が課題として浮上した。また、中段技術は使用頻度が高いが成功率が低く、上段技術は特に踵落として高得点効果を発揮した。

本研究の結果から、高難度技術・迎撃戦術の強化、技術連続性および打撃力向上が今後の課題であることが明らかとなった。

論文情報

掲 載 誌：スポーツパフォーマンス研究, 17巻・220-230

タイトル：日本テコンドー選手の技術と戦術分析

著 者 名：張麗娟、杉田正明

U R L：https://doi.org/10.34518/rjsp.17.0_220